

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 02-126847

(43)Date of publication of application : 15.05.1990

(51)Int.Cl.

A61F 2/16

(21)Application number : 63-279813

(71)Applicant : MENIKON:KK

(22)Date of filing : 04.11.1988

(72)Inventor : HARA TSUTOMU

YASUDA AKIHIRO

KUMAZAWA YUTAKA

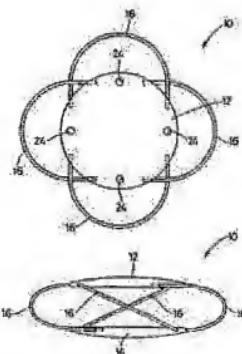
YAMADA YOSHIHARU

(54) INTRAOCULAR LENS

(57)Abstract:

PURPOSE: To make it possible to adjust a focal distance according to the distance to a focused object by elastically coupling an optical lens portion and a holding portion by means of coupling means capable of moving the portions to make them close to or distant from each other in accordance with changes in the distance to the focused object.

CONSTITUTION: An intraocular lens 10 comprises a lens material 12 in the form of a saucer-shaped flat convex lens, a holding portion's back member 14 in the form of a saucer-shaped flat convex lens, and four bendable loop members 16 as coupling means for elastically coupling the lens member 12 and the back member 14 with a predetermined distance therebetween. Each of the loop members 16 i.e., coupling means is U-shapedly molded using materials such as polyfluorovinylidene and polypropylene, etc., which are used in an intraocular lens. Each of the loop members has its end put in the mounting hole of the lens member 12 or in that of the back member 14 and deposited and fixed thereto while being in rotation symmetry about the optical axis of the lens member 12 and that of the back member 14 and also being slanted by a predetermined angle with respect to the optical axes.



【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成8年(1996)8月27日

【公開番号】特開平2-126847

【公開日】平成2年(1990)5月15日

【出願号】公開特許公報2-1269

【出願番号】特願昭63-279813

【国際特許分類第6版】

A61F 2/16

【F1】

A61F 2/16

9361-4C

号名:特許公報

平成7年8月13日

特許庁長官 高島 雅熙

1. 事件の表示

昭和63年 特許権 第279813号

2. 発明の名称

眼内レンズ

3. 補正をする者

事件との関係 特許出版人

名 称 株式会社メニコン

4. 代理人

住 所 名古屋市中村区名駅三丁目14番16号
②450 電話 (052) 581-1069 (代)

氏 名 (7810) 井出士 中島 三千雄

5. 補正の対象

(1) 明細書の特許請求の範囲の欄

(2) 明細書の発明の詳細な説明の欄

(3) 明細書の範囲の簡単な説明の欄

(4) 図面

6. 補正の内容

- (1) 特許請求の範囲を別紙の通りに訂正する。
- (2) 明細書第2頁第13行の「第11回」を「第7回」に訂正する。
- (3) 同 第4頁第12行の「使用で実用性に」を「能率で、且つ眼内への挿入が容易である実用性に」に訂正する。
- (4) 同 第5頁第5行の「連結手段」を「、光軸に対して傾斜した状態で設けられた複数本のループ状の連結手段」に訂正する。
- (5) 同 第6頁第12行の「持られるのである。」の次に、改行して、下記の文草を挿入する。

記

「また、本発明においては、前記光学レンズ部と保持部とを接続する連結手段が、光軸に対して傾斜した状態で設けられていることから、眼内レンズを挿入する際に、引く・奥からようなどとがなく、見て眼内レンズの眼内への挿入が容易に行なわれる構成である。」

- (6) 同 第8頁第5行の「固定されている。」を「固定されており、それによって、眼内レンズは、目標内へ挿入するに際して、引っ掛かることがないようにされているのである。」

- (7) 同 第3頁第2行～第14頁第18行の「なお、上例の……望ましい。」を、下記の如く訂正する。

記

「なお、連結手段は、概要で知覚される光の光路部外でレンズ部材1と背面部材14を弹性的に連結し、水晶体囊2を構成する眼内レンズを保持することなく、水晶体囊2内へのセット状態において、水晶体囊2の後表面部材26、28とレンズ部材1と2および背面部材14を介して、接続せしめて、水晶体囊2の厚さの変化によってそれらレンズ部材1と2および背面部材14の接近・離隔移動を許容するものであればよいが、その連結手段としてループ形状16を用いる場合には、第1回および第2回に示す眼内レンズ1のよう、レンズ1の側面から見て、ループ形状16が眼内レンズ1の光軸に対して傾斜した状態で設けられることにより、水晶体囊2内の眼内レンズ1

0の挿入時における引っ掛かりを無くしているのであり、またレンズ部材1と背面部材14が共軸状態を保持して後退・離隔運動するようにするために、第1回乃至第3回に示すように、複数本のループ部材11をセットで用いているのである。」

0回 同 第14回第19行の「第9回」を「第4回」に訂正する。

0回 同 第15回第1行の「第4回および第5回に示す如く、」を「第5回に示す如く、背面部材14として、」に訂正する。

0回 同 第15回第3～4行の「第4回および・・・・・、国内レンズでは、」を「そして、この第5回に示す背面部材14では、」に訂正する。

0回 同 第16回第6行の「第1回」を「第6回」に訂正する。

0回 同 第18回第17行の「存するのである。」の次に、改行して、下記の文草を持入する。

記

「また、レンズ部材と保持部材とを結合する結合手段が、国内レンズの光軸に対して傾斜した状態で設けられており、国内レンズの挿入時に引っ掛かりを生じることがないところから、国内レンズが容易に行われることとなるのである。」

0回 同 第18回第2～11行の「第4回は、・・・・・、第11回は、」を、下記の通りに訂正する。

記

「第4回は、本発明に従う国内レンズの保持部として採用可能な背面部材の一例を示す斜面図であり、第5回は、同じく、保持部として採用可能な背面部材の異なる一例を示す斜面図であり、第6回は、同じく、保持部として採用可能な背面部材の更に異なる一例を示す斜面図である。第7回は、」

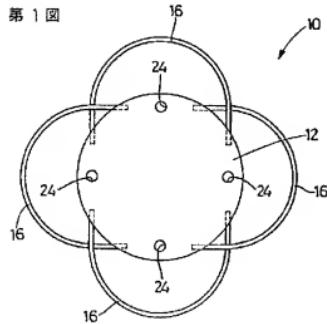
0回 国面全図を削除し、新たに、第1回乃至第7回を提出する。

別紙

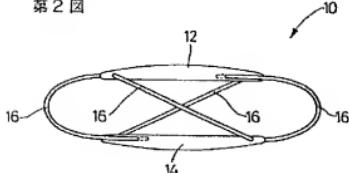
特許請求の範囲

水晶体囊内に挿入されて用いられる眼内レンズであって、(a)凸レンズ機能を備えた光透過材料からなる光学レンズ部と、(b)少なくとも知覚される光の光路部に相当する部分が光の通過を許す光透過部とされた保持部と、(c)それら光学レンズ部と保持部とを、背水晶体囊の前部の囊部に付勢・接触せしめる状態で、知覚される光の光路部において薄片的に連結し、該水晶体囊の変形に応じて、それら光学レンズ部と保持部とが相互に接近・離隔運動することを許する。光学部に対して倾斜した状態で設けられた複数本のループ状の連結手段とを、含むことを特徴とする眼内レンズ。

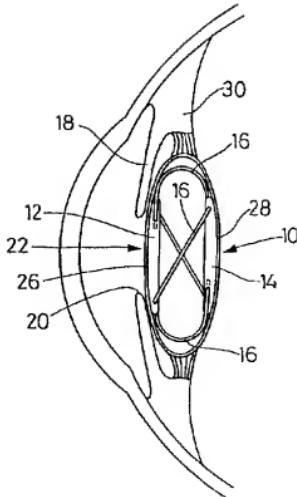
第1図



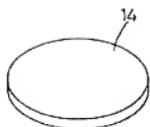
第2図



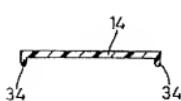
第3図



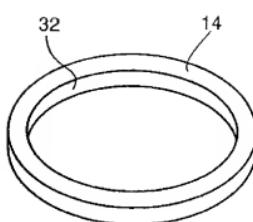
第4図



第6図



第5図



第7図

